

主な事業（公共工事）

NO	県土整備部	災害レジリエンスNo. 1の実現	
実施目的	<p>頻発・激甚化する気象災害にしっかりと対応するため、「災害レジリエンスNo. 1」の実現に向け、ハードとソフトが一体となった防災・減災対策を推進します。</p>		
規 模	R2事業費	27,080,048千円	
	<p>令和2年度に実施する内容</p> <p>【水害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川改修 [利根川(伊勢崎市) 八瀬川(太田市) ほか] ・堤防強化 [烏川(高崎市)] ・ダムの洪水調節能力の増強 [県営6ダム] ・水位周知河川の追加指定 [休泊川(大泉町) ほか] 等 <p>【土砂災害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流対策 [天神沢(藤岡市) 大沢川(東吾妻町) ほか] ・がけ崩れ対策 [西久方町1丁目1地区(桐生市) ほか] 等 <p>【道路防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法面对策 [国道353号村上工区(渋川市) ほか] ・無電柱化 [国道354号小桑原工区(館林市) ほか] 等 		
発注・進行状況	<p>施工量（月当たり）の平準化を踏まえた発注を実施</p>		
完成時期	<ul style="list-style-type: none"> ・烏川(高崎市) 堤防強化 令和2年度完成予定 ・田城沢(下仁田町) 堰堤工 令和2年度完成予定 ・国道144号今井工区(嬭恋村) 法面对策 令和2年度完成予定 等 		
効果等	<p>水害対策では、水位周知河川の追加指定、減災対策協議会を通じた市町村の「洪水ハザードマップ」、要配慮者利用施設の避難支援等のソフト対策と、河川改修や堤防強化等のハード対策を推進します。</p> <p>土砂災害対策では、住民主体の防災マップの作成支援や、要配慮者利用施設の避難支援等のソフト対策、要配慮者利用施設や、避難所及び人家を保全する土石流対策やがけ崩れ対策等のハード対策を推進します。</p> <p>道路防災では、災害時の「社会経済活動の継続」、「迅速な救命救助・復旧復興」の実現に向け、落石対策、無電柱化等を重点的に推進し、緊急輸送道路等の寸断を防止します。</p>		
担当所属	道路管理課、河川課、砂防課	連絡先	027-226-3598、3618、3635
関連HP			